



大田区シンボルマーク

# 大田区政に関する世論調査

令和5年6月実施

(概要版)

大田区では、区民の皆様のご意見を伺う方法の一つとして、昭和49年から「大田区政に関する世論調査」を実施しています。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。

調査にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

令和5年11月

大田区 企画経営部 広聴広報課

## ■調査概要

対象者	区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）
対象数	4,000人
回収数	2,025人
回収率	50.6%
有効回収数	2,021人（電子申請での回答含む）
有効回収率	50.5%
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	郵送調査（回収方法は郵送回収に加え、スマートフォンおよびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施）

## ■グラフの見方

- ・nはその設問の回答者数を表す。
- ・集計は小数点以下第二位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、合計が100%を超えることがある。

1. 定住性

- (1) 居住年数
- ☆ (2) 定住意向【P2】
- ☆ (3) ずっと住み続けたい理由【P2】
- (4) 当分は住み続けたい期間
- ☆ (5) 住んでいるまちが魅力的か【P3】

2. 暮らしやすさ

- ☆ (1) 住んでいるまちの暮らしやすさ【P3】
- ☆ (2) 生活環境の満足度【P4】
- ☆ (3) 住んでいるまちにどのようなようになってほしいか【P5】

3. 緊急対策

- ☆ (1) 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと【P6】

《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

4. 健康に暮らせるまち

- ☆ (1) 健康状態【P6】

5. 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち

- ☆ (1) 男女の地位平等【P7】
- ☆ (2) 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先【P8】

6. 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち

- ☆ (1) 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時【P9】
- ☆ (2) 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度【P10】

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》

7. 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち

- ☆ (1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか【P10】

8. 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち

- ☆ (1) 羽田空港跡地について、どう感じているか【P11】

9. 持続可能な国際交流・多文化共生

- ☆ (1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか【P11】
- ☆ (2) 賑わいと活力を生むまちづくりが進められていると感じているか【P12】

《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

10. 魅力的で住み続けたいまち

- ☆ (1) 地域活動への参加意向【P12】
- ☆ (2) 区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか【P13】

11. 災害に強く、防犯力の高い地域づくり

- ☆ (1) 防災に対する意識【P13】
- ☆ (2) 災害情報の入手手段【P14】
- ☆ (3) 大田区防災アプリの認知度【P15】
- ☆ (4) 大田区防災アプリの認知方法【P15】
- ☆ (5) 住んでいるまちの治安の変化【P16】

12. 持続可能な地球環境

- ☆ (1) 地球温暖化防止への関心度【P16】
- (2) 家庭で取り組んでいる省エネ行動

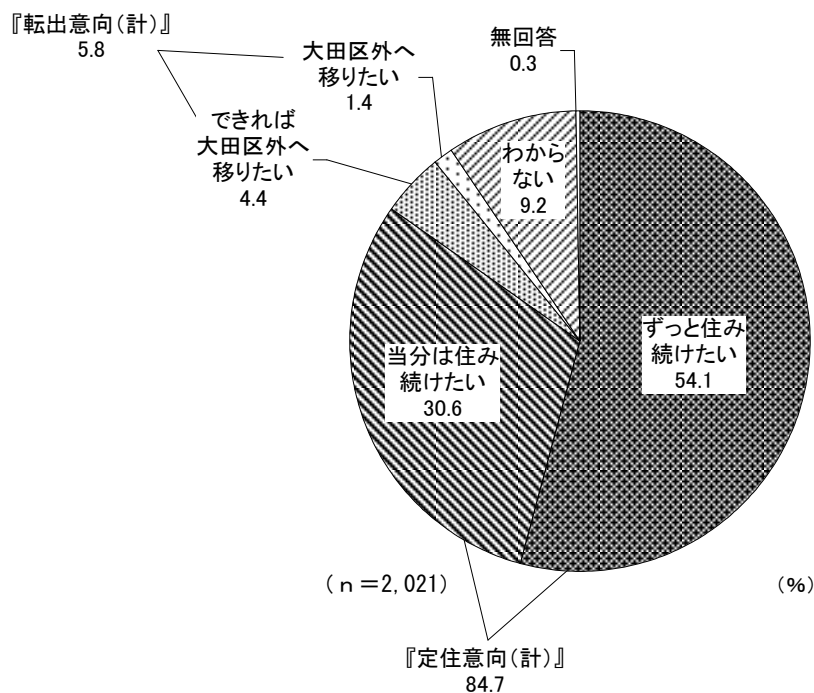
13. 区政への関心と要望

- ☆ (1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度【P17】
- ☆ (2) 施策要望【P18】
- ☆ (3) 区内施設の利用目的【P19】
- ☆ (4) 区の媒体の利用頻度【P20】
- ☆ (5) 区の行政サービスや窓口への印象【P21】
- (6) 区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思う理由
- ☆ (7) 区の職員の窓口や電話対応への印象【P21】
- ☆ (8) 区政への参加意向【P22】
- (9) 区政に参加したいと思わない理由

# 1. 定住性

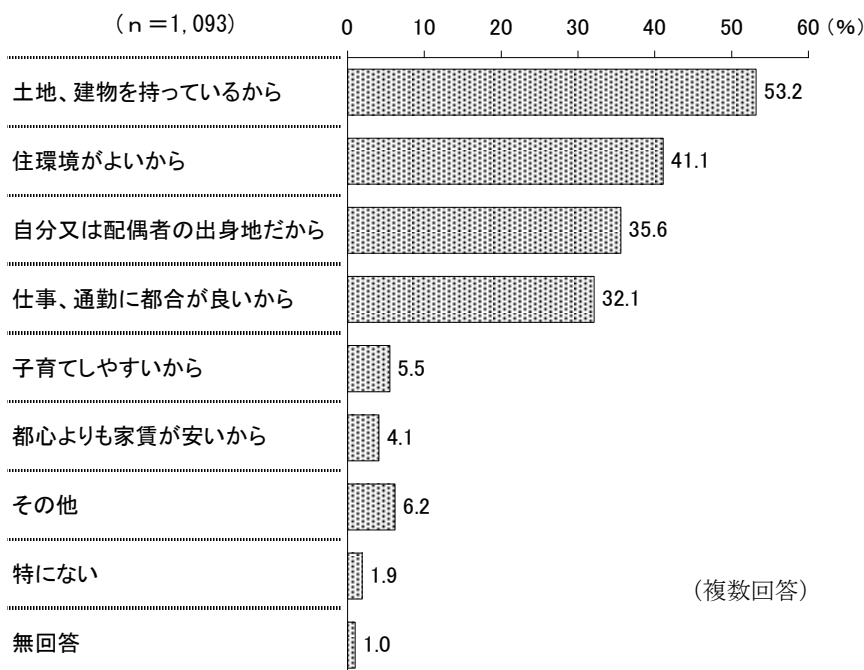
## ■ 定住意向・・・『定住意向（計）』は8割半ば

定住意向を聞いたところ、「ずっと住みたい」（54.1%）が5割半ばで最も高く、これに「当分は住みたい」（30.6%）を合わせた『定住意向（計）』（84.7%）は8割半ばとなっている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」（4.4%）と「大田区外へ移りたい」（1.4%）を合わせた『転出意向（計）』（5.8%）は1割未満となっている。



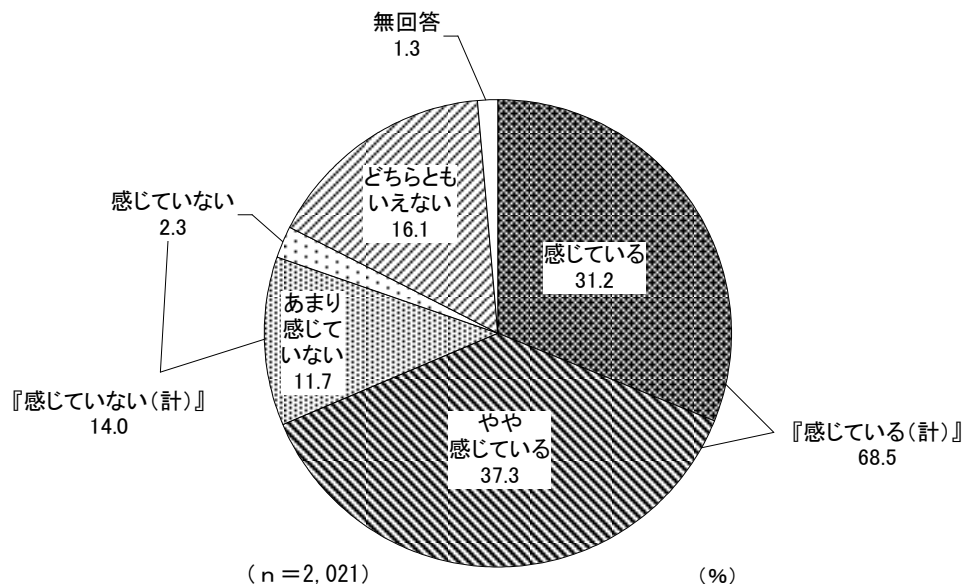
## ■ ずっと住みたい理由・・・「土地、建物を持っているから」が5割を超える

これからも大田区に「ずっと住みたい」と答えた人（1,093人）に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」（53.2%）が5割を超えて最も高く、次いで「住環境がよいから」（41.1%）、「自分又は配偶者の出身地だから」（35.6%）、「仕事、通勤に都合が良いから」（32.1%）などの順になっている。



■住んでいるまちが魅力的か・・・『感じている（計）』は7割近く

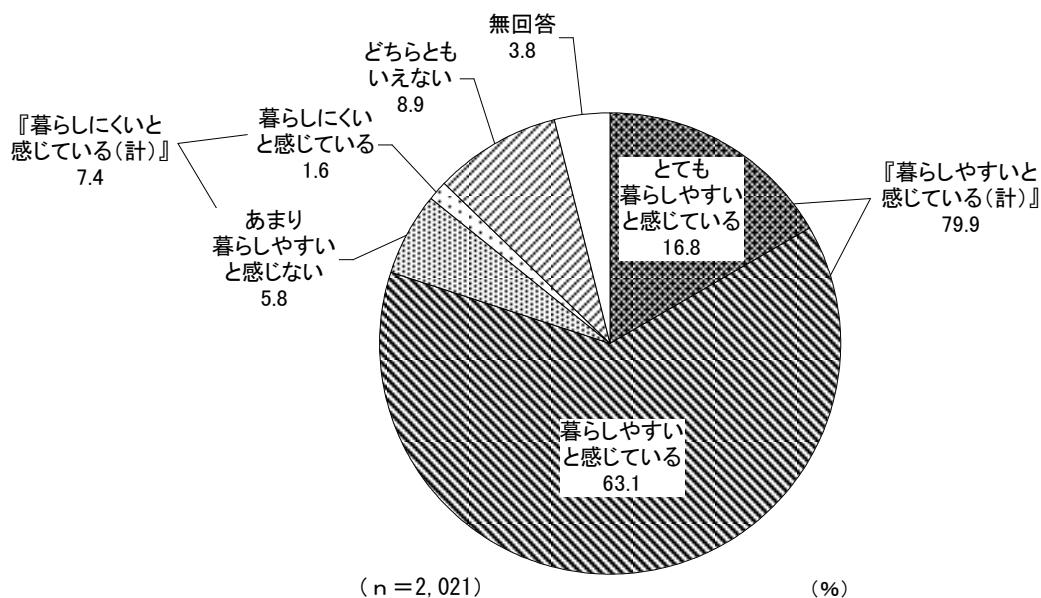
住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「感じている」（31.2%）と「やや感じている」（37.3%）を合わせた『感じている（計）』（68.5%）は7割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」（11.7%）と「感じていない」（2.3%）を合わせた『感じていない（計）』（14.0%）は1割半ばとなっている。



## 2. 暮らしやすさ

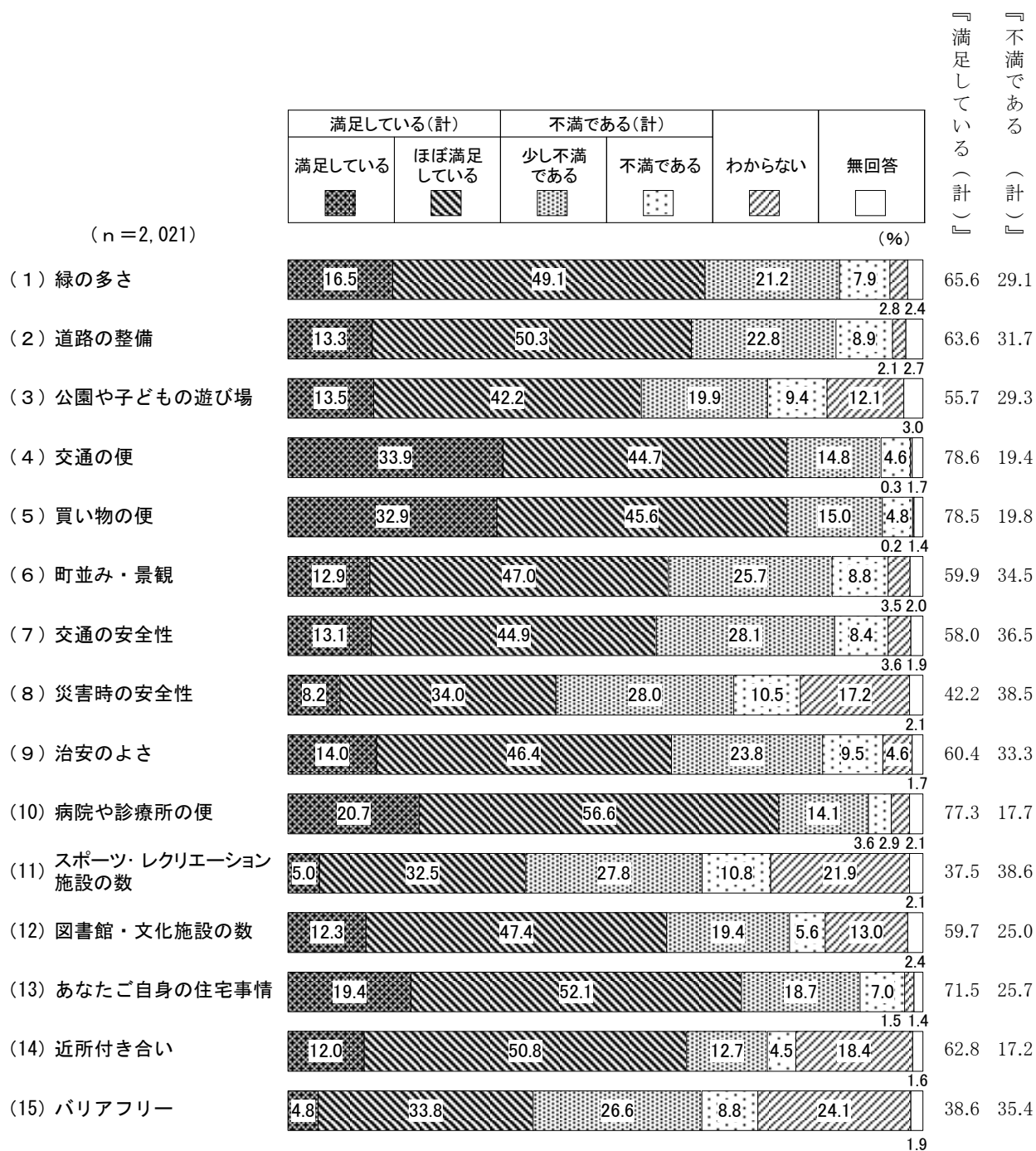
■住んでいるまちの暮らしやすさ・・・『暮らしやすいと感じている（計）』は8割

現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」（63.1%）が6割を超えて最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」（16.8%）を合わせた『暮らしやすいと感じている（計）』（79.9%）は8割となっている。一方、「あまり暮らしやすいと感じない」（5.8%）と「暮らしにくいと感じている」（1.6%）を合わせた『暮らしにくいと感じている（計）』（7.4%）は1割未満となっている。



■生活環境の満足度・・・『満足している(計)』は「交通の便」、「買い物の便」、「病院や診療所の便」で8割近く

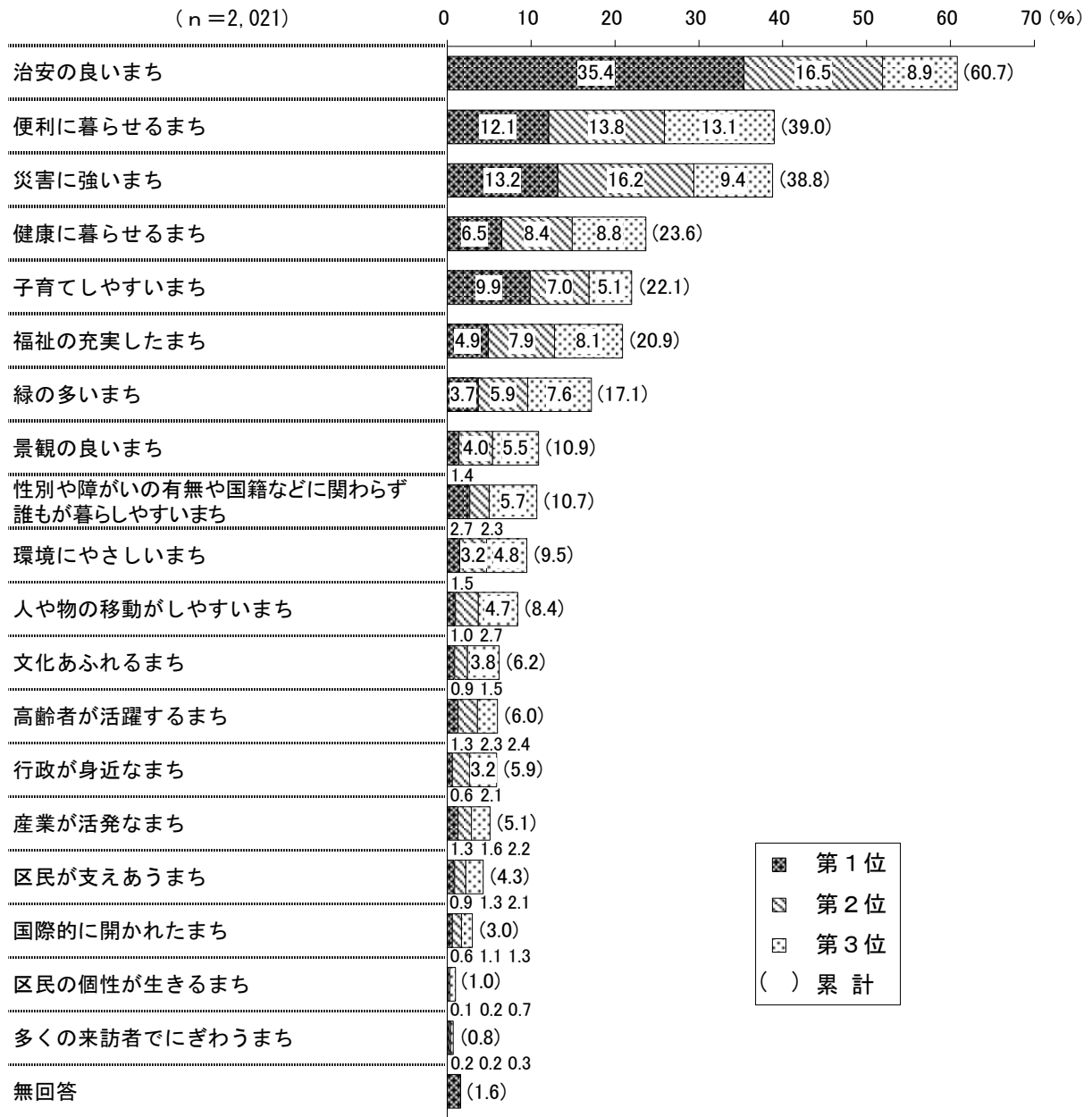
住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している(計)』は「交通の便」(78.6%)、「買い物の便」(78.5%)、「病院や診療所の便」(77.3%)の3項目で8割近くと高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である(計)』は「スポーツ・レクリエーション施設の数」(38.6%)、「災害時の安全性」(38.5%)、「交通の安全性」(36.5%)の3項目で4割近くと高くなっている。



■住んでいるまちにどのようなになってほしいか・・・《累計》では「治安の良いまち」が約6割

住んでいるまちにどのようなになってほしいか聞いたところ、第1位では「治安の良いまち」(35.4%)が3割半ばで最も高く、次いで「災害に強いまち」(13.2%)などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》で見ると、「治安の良いまち」(60.7%)が約6割で最も高く、次いで「便利に暮らせるまち」(39.0%)、「災害に強いまち」(38.8%)、「健康に暮らせるまち」(23.6%)などの順になっている。

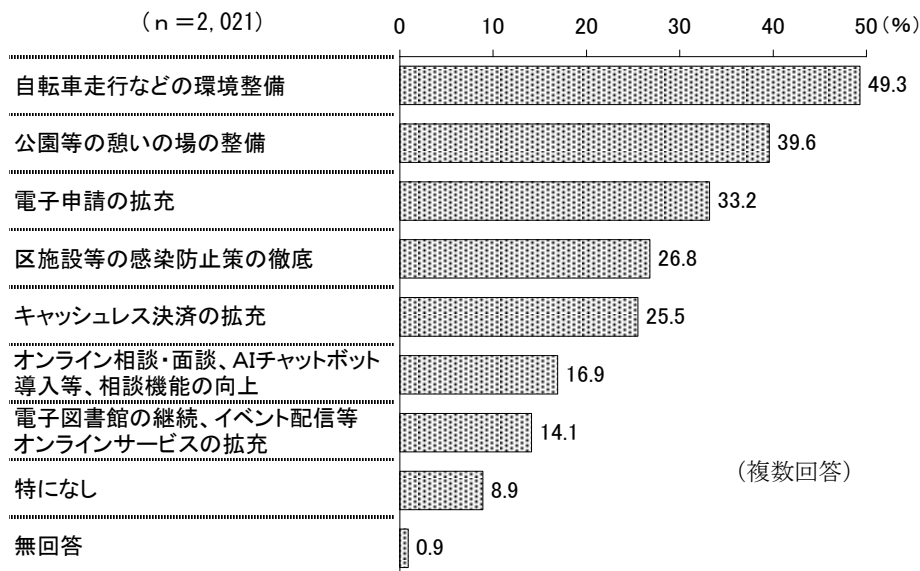


### 3. 緊急対策

■ 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと

・・・「自転車走行などの環境整備」が約5割

「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいことを聞いたところ、「自転車走行などの環境整備」(49.3%)が約5割で最も高く、次いで「公園等の憩いの場の整備」(39.6%)、「電子申請の拡充」(33.2%)、「区施設等の感染防止策の徹底」(26.8%)などの順になっている。

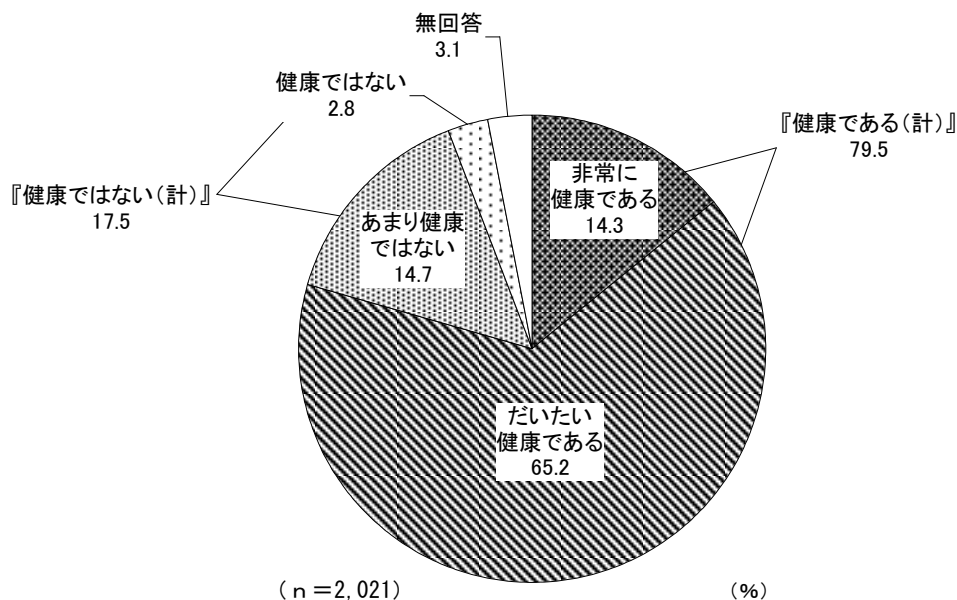


## 《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

### 4. 健康に暮らせるまち

■ 健康状態・・・『健康である(計)』は8割

健康状態をどのように感じているか聞いたところ、「だいたい健康である」(65.2%)が6割半ばで最も高く、これに「非常に健康である」(14.3%)を合わせた『健康である(計)』(79.5%)は8割となっている。一方、「あまり健康ではない」(14.7%)と「健康ではない」(2.8%)を合わせた『健康ではない(計)』(17.5%)は2割近くとなっている。

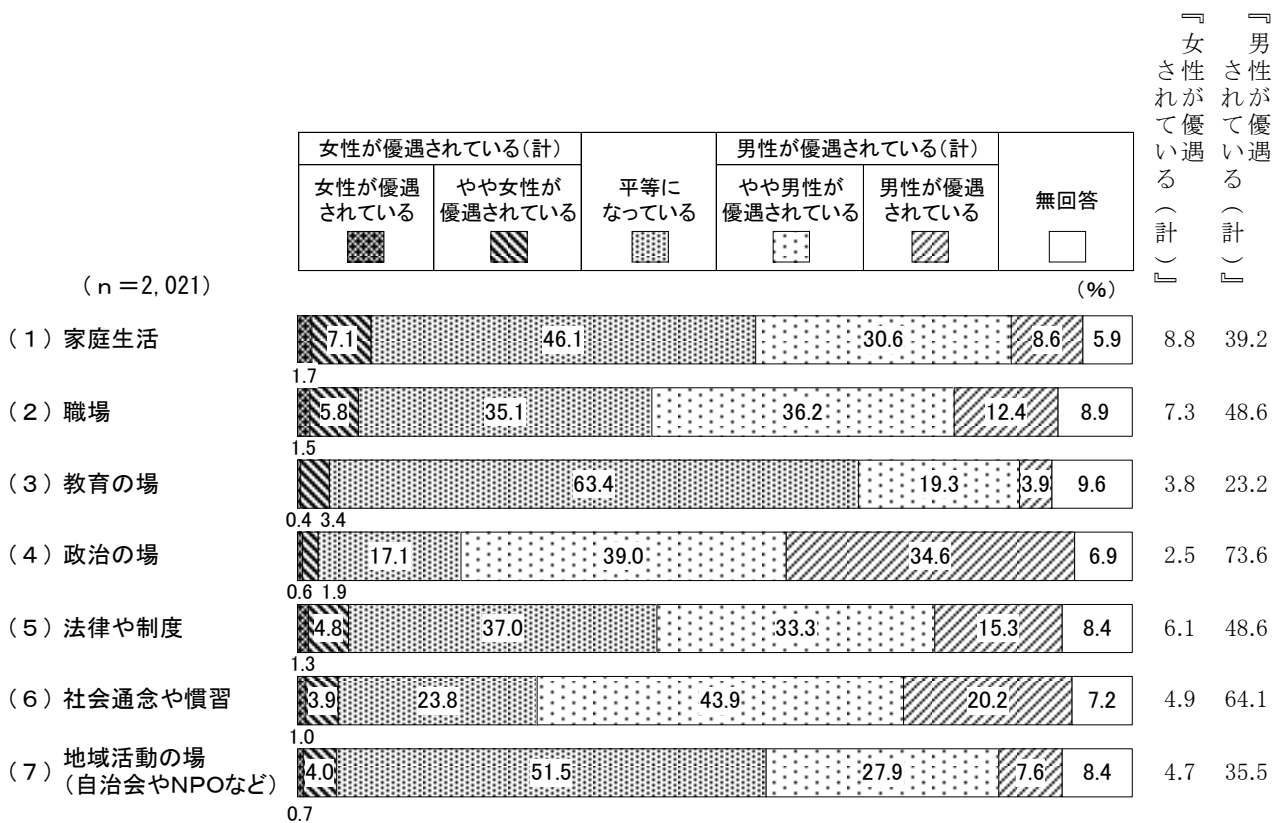


## 5. 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち

■男女の地位平等・・・「平等になっている」は“教育の場”で6割を超える

『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”で7割を超える

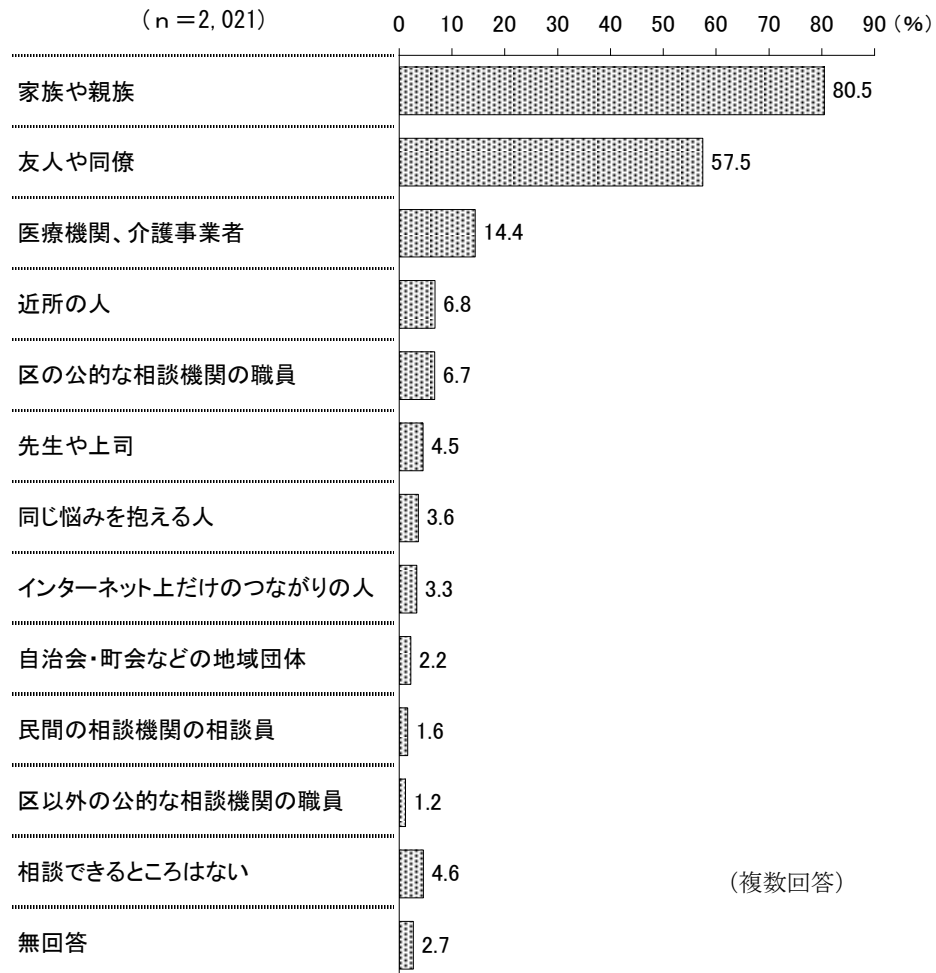
男女の地位について聞いたところ、「女性が優遇されている」と「やや女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている（計）』は全ての項目で1割未満となっている。一方、「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”（73.6%）で7割を超え、“社会通念や慣習”（64.1%）で6割半ばと高くなっている。また、「平等になっている」は“教育の場”（63.4%）で6割を超え、“地域活動の場（自治会やNPOなど）”（51.5%）で5割を超えて高くなっている。





■ 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先・・・「家族や親族」が約8割

日々の暮らしで困りごとや心配ごとがあった場合、主に誰に相談しているか聞いたところ、「家族や親族」(80.5%)が約8割で最も高く、次いで「友人や同僚」(57.5%)、「医療機関、介護事業者」(14.4%)などの順になっている。



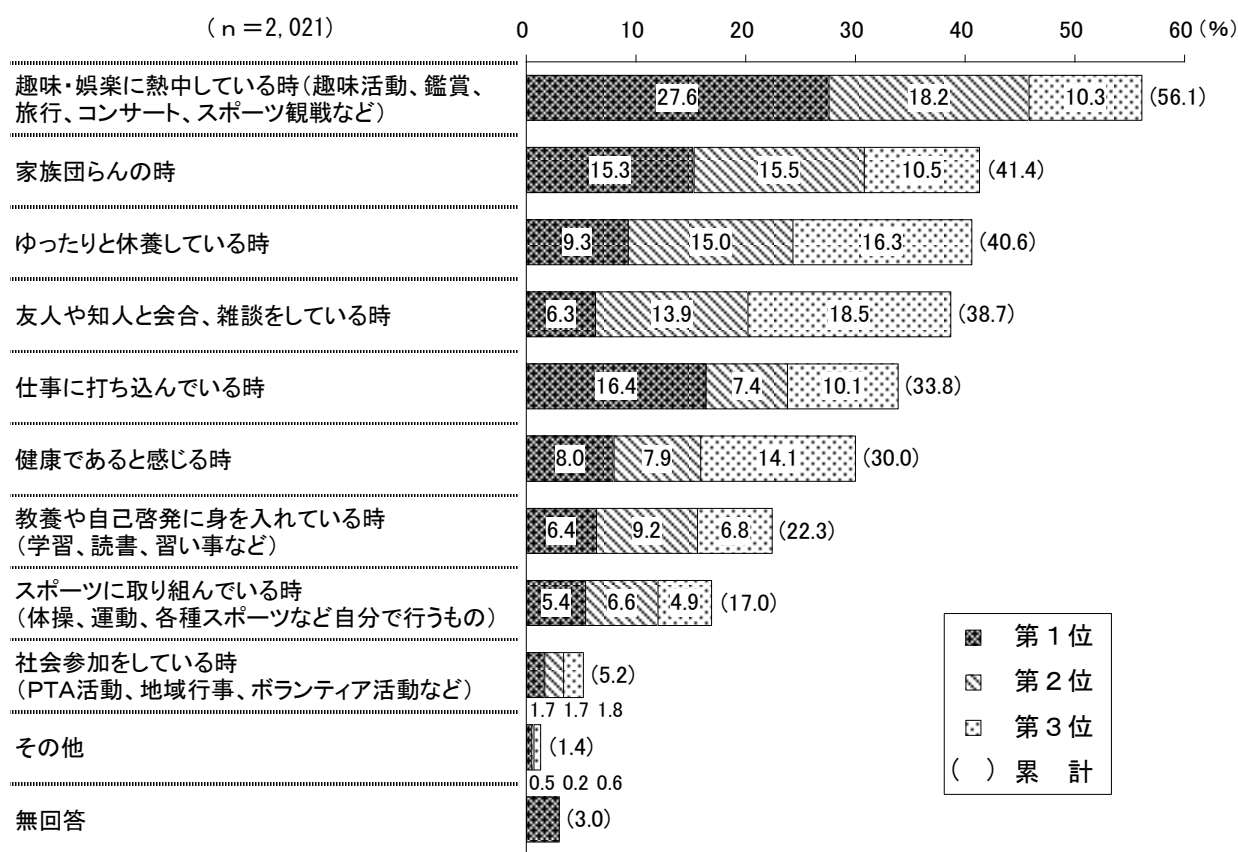
## 6. 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち

### ■ 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時

・・・《累計》では「趣味・娯楽に熱中している時」が5割半ば

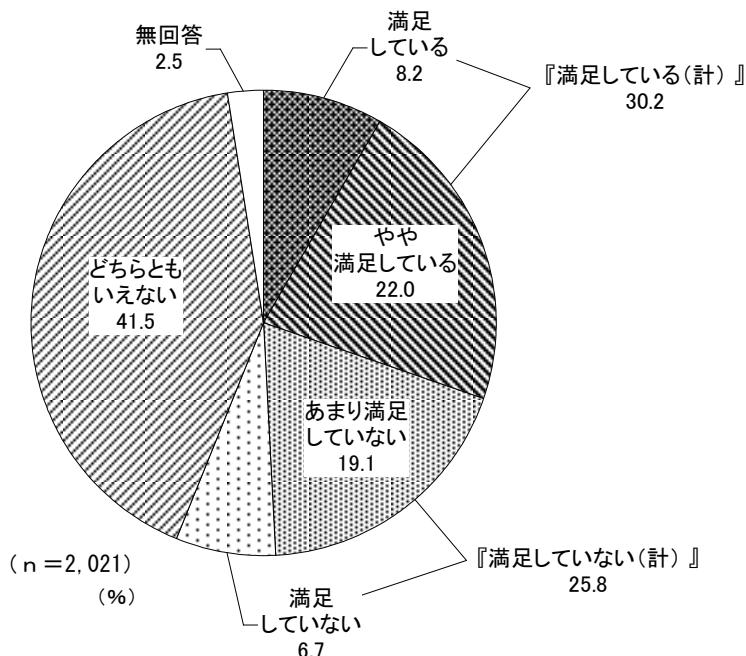
日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのほどのような時か聞いたところ、第1位では「趣味・娯楽に熱中している時（趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など）」（27.6%）が3割近くで最も高く、次いで「仕事に打ち込んでいる時」（16.4%）、「家族団らんの時」（15.3%）などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》でみると、「趣味・娯楽に熱中している時（趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など）」（56.1%）が5割半ばで最も高く、次いで「家族団らんの時」（41.4%）、「ゆったりと休養している時」（40.6%）、「友人や知人と会合、雑談をしている時」（38.7%）などの順になっている。



■ 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度・・・『満足している（計）』は3割

区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度を聞いたところ、「満足している」(8.2%)と「やや満足している」(22.0%)を合わせた『満足している(計)』(30.2%)は3割となっている。一方、「あまり満足していない」(19.1%)と「満足していない」(6.7%)を合わせた『満足していない(計)』(25.8%)は2割半ばとなっている。また、「どちらともいえない」(41.5%)は4割を超えている。

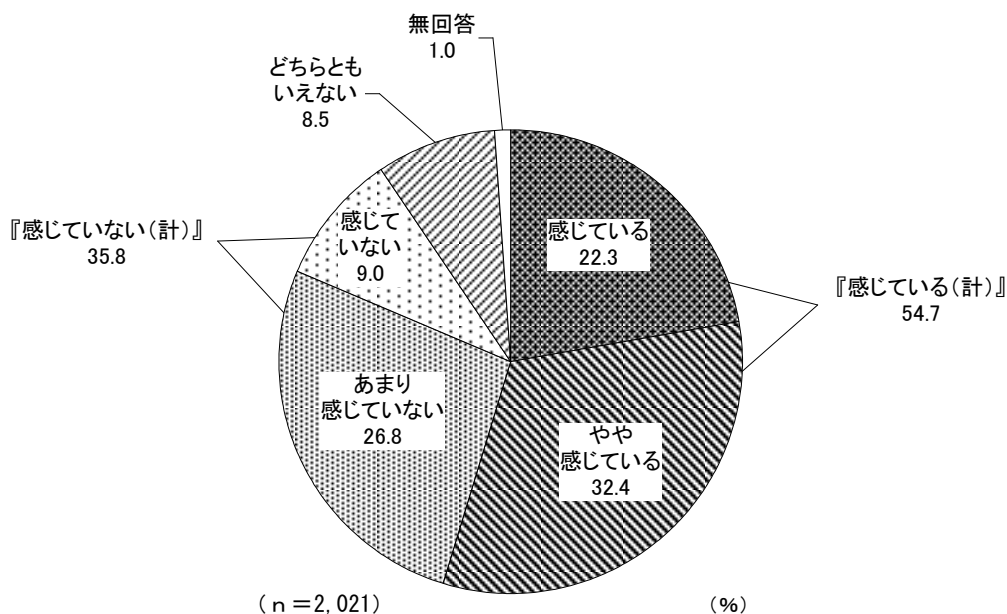


《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》

7. 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち

■ 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか・・・『感じている（計）』は5割半ば

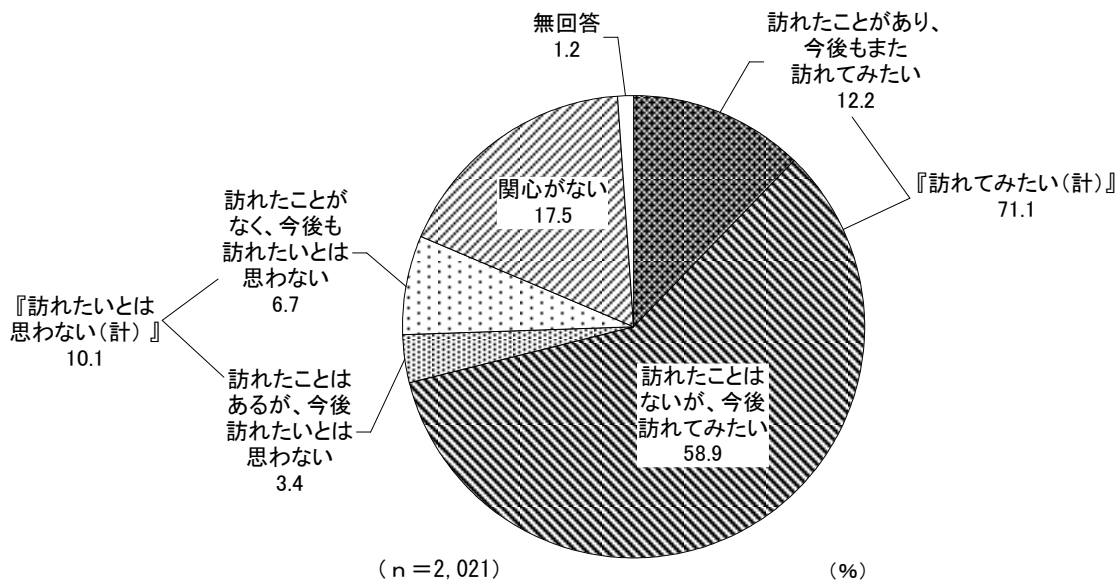
身近な場所で水や緑に親しめると感じているか聞いたところ、「感じている」(22.3%)と「やや感じている」(32.4%)を合わせた『感じている(計)』(54.7%)は5割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」(26.8%)と「感じていない」(9.0%)を合わせた『感じていない(計)』(35.8%)は3割半ばとなっている。



## 8. 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち

### ■羽田空港跡地について、どう感じているか・・・『訪れてみたい(計)』は7割を超える

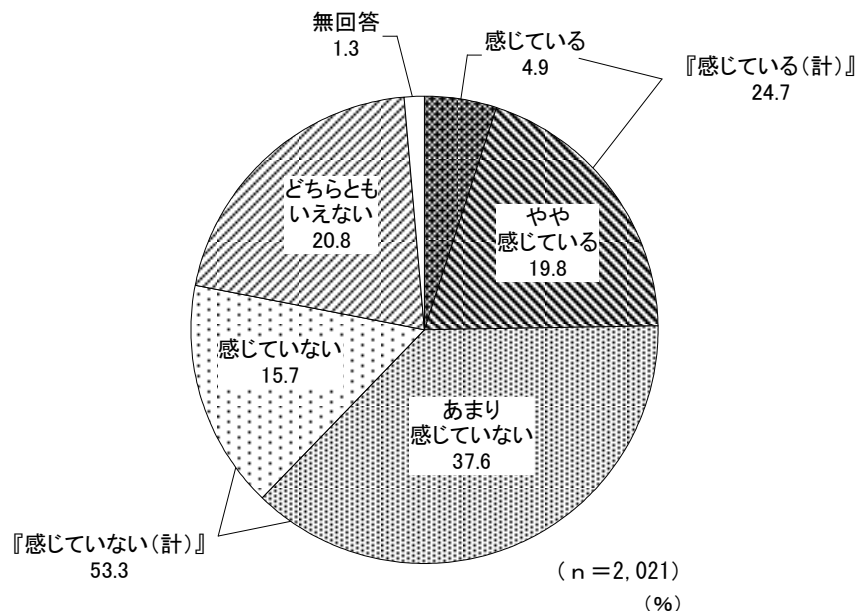
羽田空港跡地についてどのように感じているか聞いたところ、「訪れたことはないが、今後訪れてみたい」(58.9%)が6割近くで最も高く、これに「訪れたことがあり、今後もまた訪れてみたい」(12.2%)を合わせた『訪れてみたい(計)』(71.1%)は7割を超えている。一方、「訪れたことはあるが、今後訪れない」と「訪れたことがなく、今後訪れない」と思わない(3.4%)を合わせた『訪れないとは思わない(計)』(10.1%)は1割となっている。また、「関心がない」(17.5%)は2割近くとなっている。



## 9. 持続可能な国際交流・多文化共生

### ■大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか・・・『感じている(計)』は2割半ば

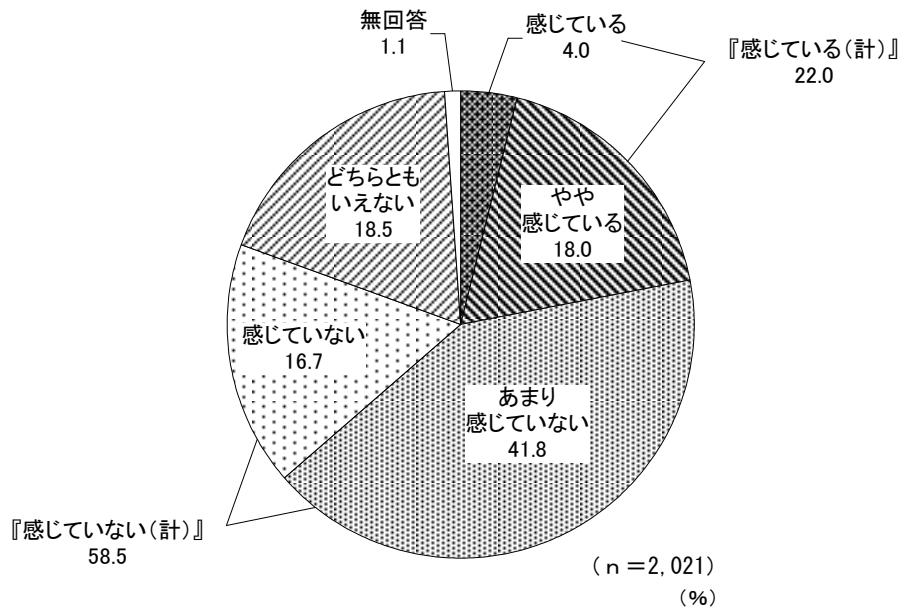
大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」(4.9%)と「やや感じている」(19.8%)を合わせた『感じている(計)』(24.7%)は2割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」(37.6%)と「感じていない」(15.7%)を合わせた『感じていない(計)』(53.3%)は5割を超えている。



■賑わいと活力を生むまちづくりが進められていると感じているか

・・・『感じている(計)』は2割を超える

住んでいるまちにおいて、賑わいと活力を生むまちづくりが進められていると感じているか聞いたところ、「感じている」(4.0%)と「やや感じている」(18.0%)を合わせた『感じている(計)』(22.0%)は2割を超えている。一方、「あまり感じていない」(41.8%)と「感じていない」(16.7%)を合わせた『感じていない(計)』(58.5%)は6割近くとなっている。

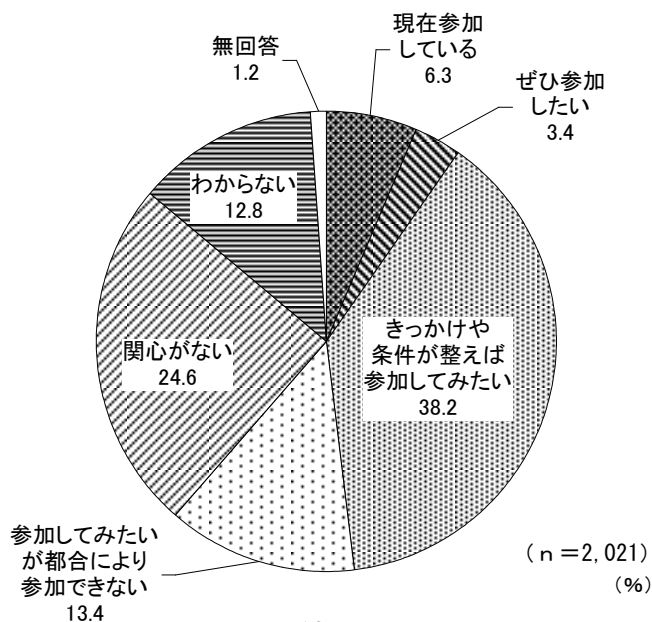


《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

10. 魅力的で住み続けたいまち

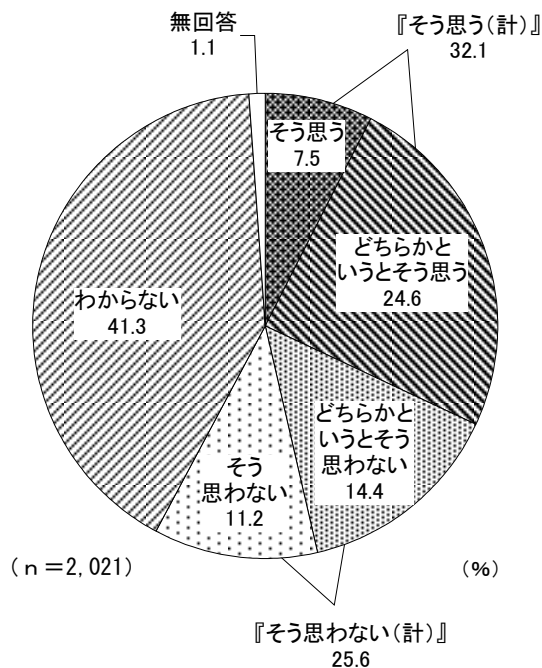
■地域活動への参加意向・・・『きっかけや条件を整えば参加してみたい』が4割近く

現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思うか聞いたところ、「現在参加している」(6.3%)と「ぜひ参加したい」(3.4%)は1割未満、「きっかけや条件を整えば参加してみたい」(38.2%)が4割近くとなっている。一方、「参加してみたいが都合により参加できない」(13.4%)は1割を超え、「関心がない」(24.6%)は2割半ばとなっている。



■区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか・・・『そう思う（計）』は3割を超える

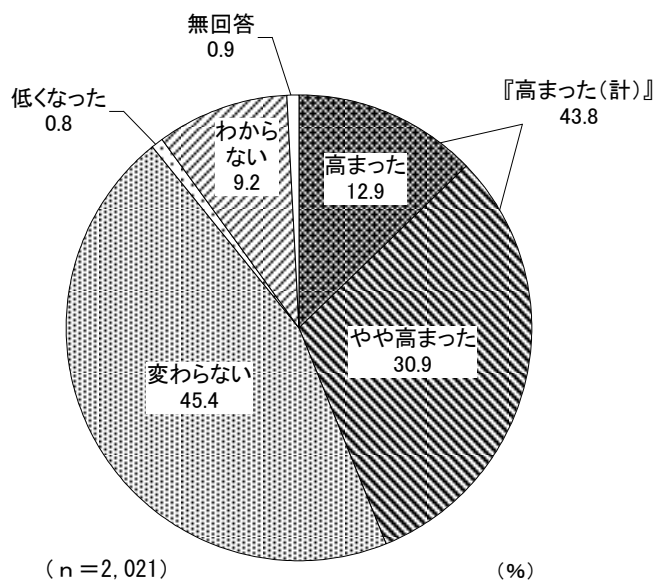
区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか聞いたところ、「そう思う」（7.5%）と「どちらかというと思う」（24.6%）を合わせた『そう思う（計）』（32.1%）は3割を超えている。一方、「どちらかというと思わない」（14.4%）と「そう思わない」（11.2%）を合わせた『そう思わない（計）』（25.6%）は2割半ばとなっている。



## 11. 災害に強く、防犯力の高い地域づくり

■防災に対する意識・・・『高まった（計）』は4割を超える

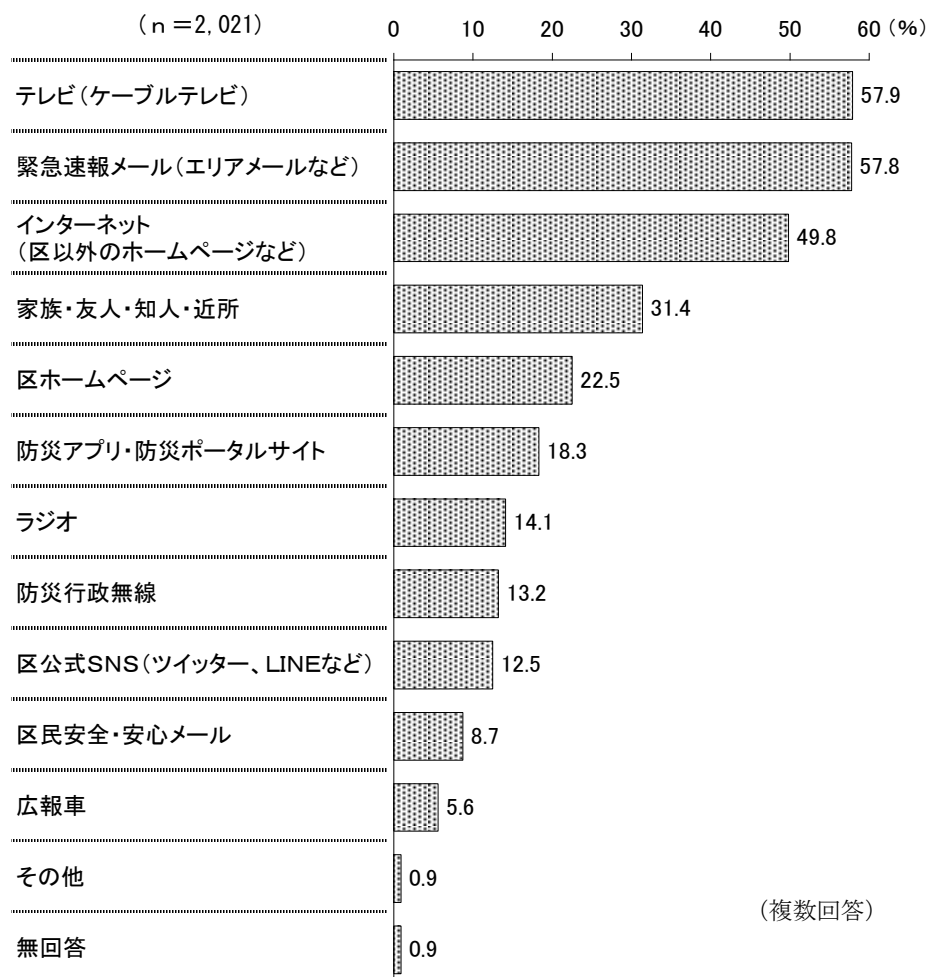
1年前に比べて防災に対する意識が高まったと思うか聞いたところ、「高まった」（12.9%）と「やや高まった」（30.9%）を合わせた『高まった（計）』（43.8%）は4割を超えている。一方、「変わらない」（45.4%）は4割半ば、「低くなった」（0.8%）はわずかとなっている。



■ 災害情報の入手手段

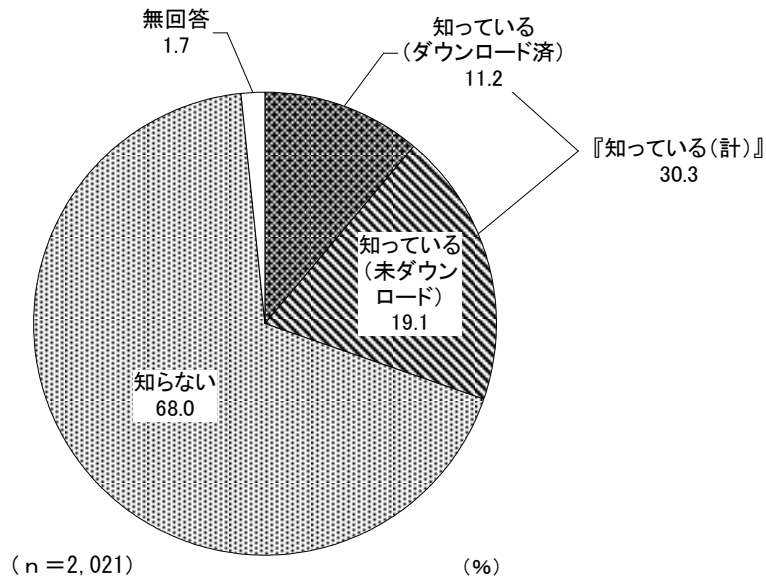
・・・「テレビ（ケーブルテレビ）」と「緊急速報メール（エリアメールなど）」が6割近く

災害情報の入手手段を聞いたところ、「テレビ（ケーブルテレビ）」（57.9%）と「緊急速報メール（エリアメールなど）」（57.8%）が6割近くで高く、次いで「インターネット（区以外のホームページなど）」（49.8%）、「家族・友人・知人・近所」（31.4%）などの順になっている。



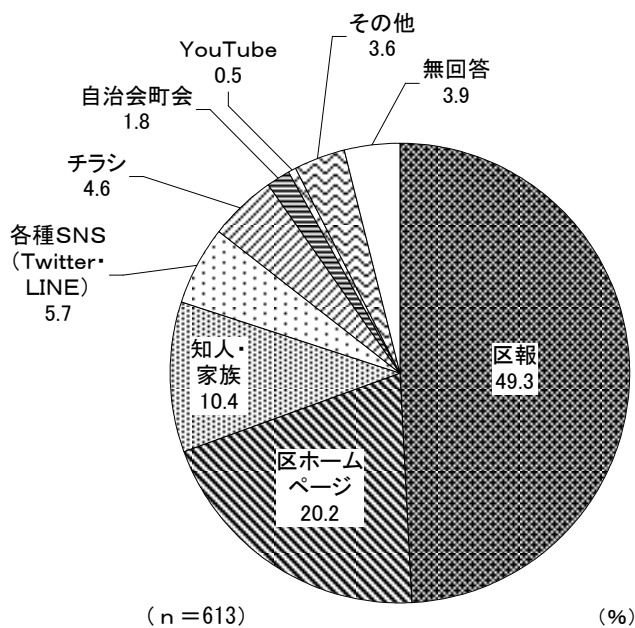
■大田区防災アプリの認知度・・・『知っている（計）』は3割

大田区防災アプリを知っているか聞いたところ、「知っている（ダウンロード済）」（11.2%）と「知っている（未ダウンロード）」（19.1%）を合わせた『知っている（計）』（30.3%）は3割となっている。一方、「知らない」（68.0%）は7割近くとなっている。



■大田区防災アプリの認知方法・・・「区報」が約5割

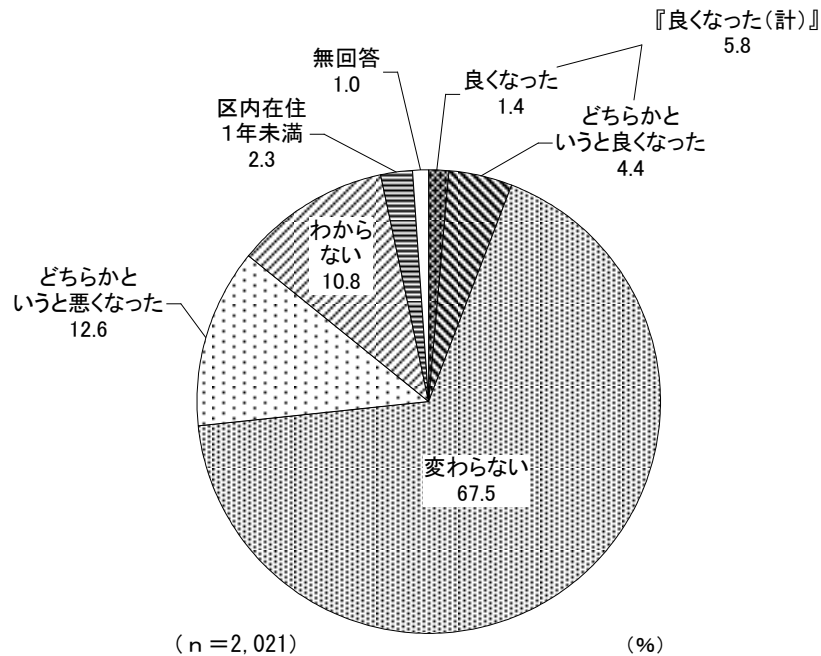
大田区防災アプリを知っていると答えた人（613人）に、大田区防災アプリをどこで知ったか聞いたところ、「区報」（49.3%）が約5割で最も高く、次いで「区ホームページ」（20.2%）、「知人・家族」（10.4%）などの順になっている。





■住んでいるまちの治安の変化・・・「変わらない」が7割近く

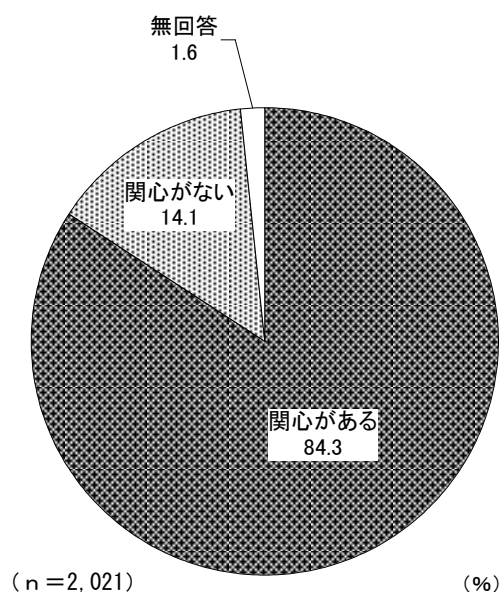
1年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化していると感じているか聞いたところ、「良くなった」(1.4%)と「どちらかというと言良くなった」(4.4%)を合わせた『良くなった(計)』(5.8%)は1割未満となっている。一方、「変わらない」(67.5%)は7割近く、「どちらかというと言悪くなった」(12.6%)は1割を超えている。



## 12. 持続可能な地球環境

■地球温暖化防止への関心度・・・「関心がある」が8割半ば

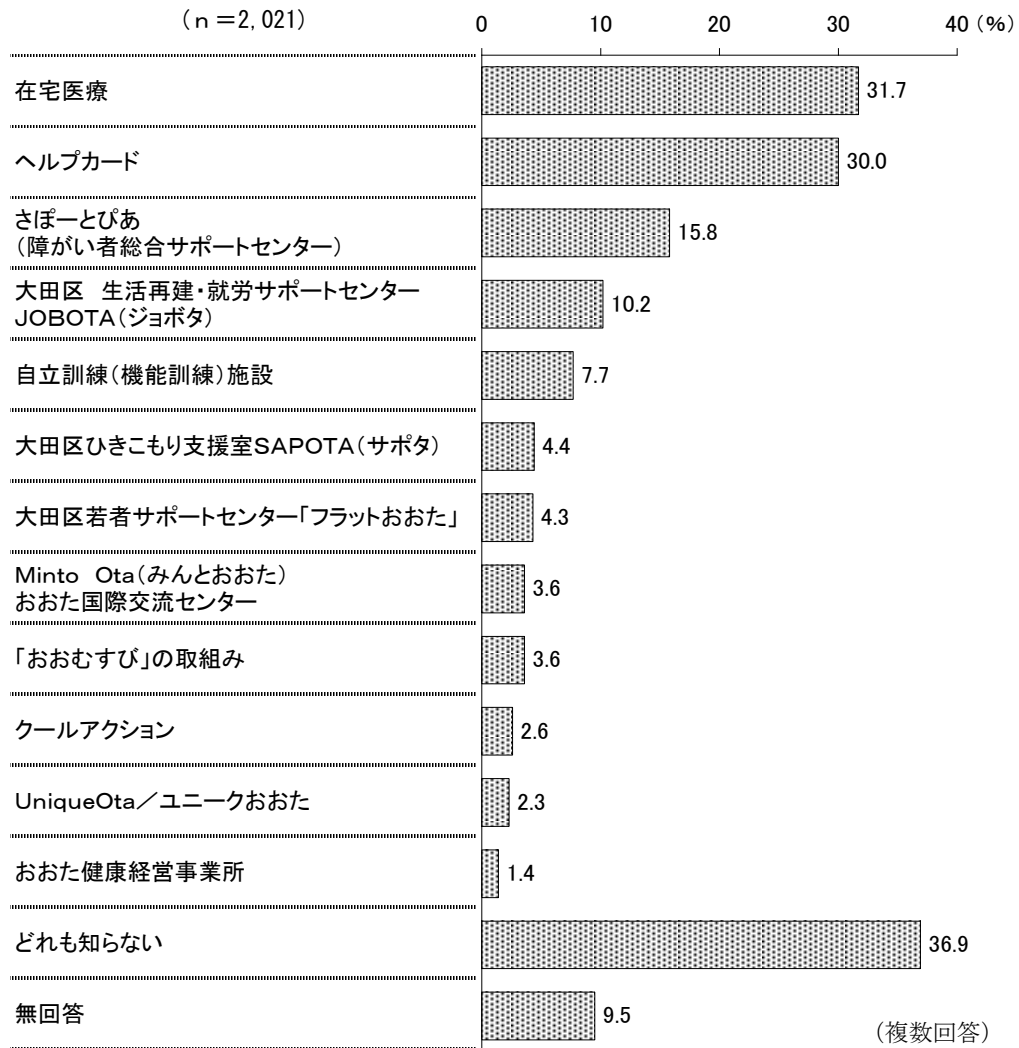
地球温暖化防止に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(84.3%)が8割半ば、「関心がない」(14.1%)は1割半ばとなっている。



### 13. 区政への関心と要望

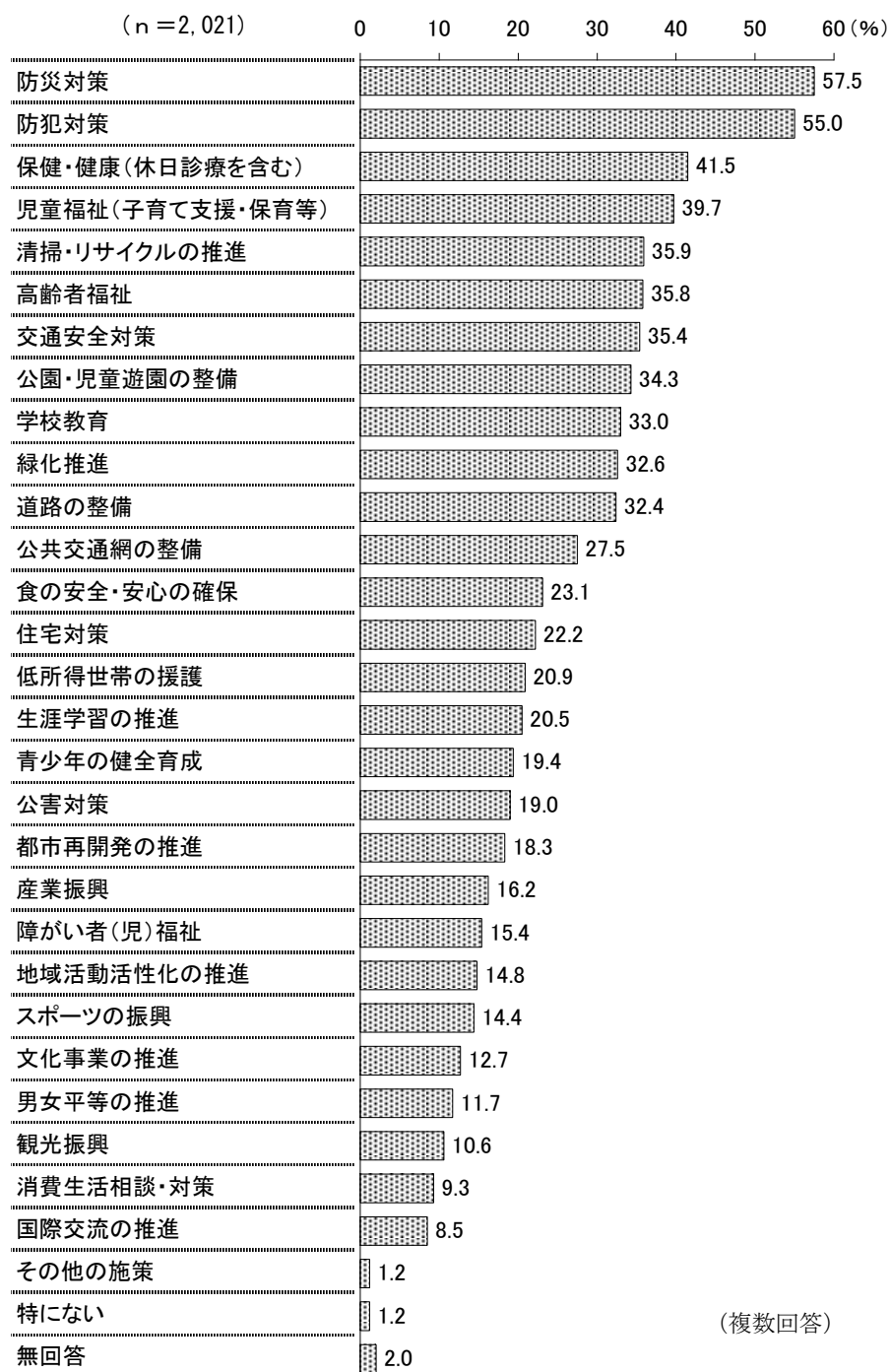
#### ■大田区等の制度・施策・施設の認知度・・・「在宅医療」が3割を超える

区等の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「在宅医療」(31.7%)が3割を超えて最も高く、次いで「ヘルプカード」(30.0%)、「さぽーとぴあ(障がい者総合サポートセンター)」(15.8%)、「大田区 生活再建・就労サポートセンター JOBOTA(ジョボタ)」(10.2%)などの順になっている。一方、「どれも知らない」(36.9%)は4割近くとなっている。



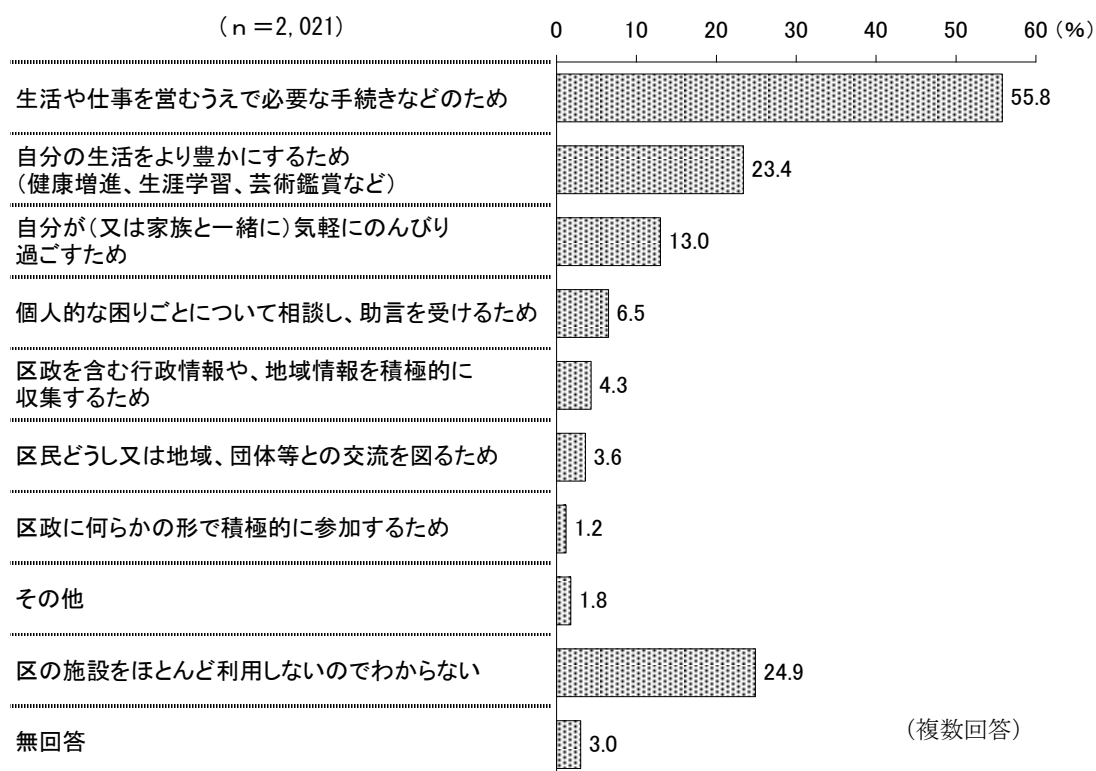
■ 施策要望・・・「防災対策」が6割近く

区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(57.5%)が6割近くで最も高く、次いで「防犯対策」(55.0%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(41.5%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(39.7%)などの順になっている。



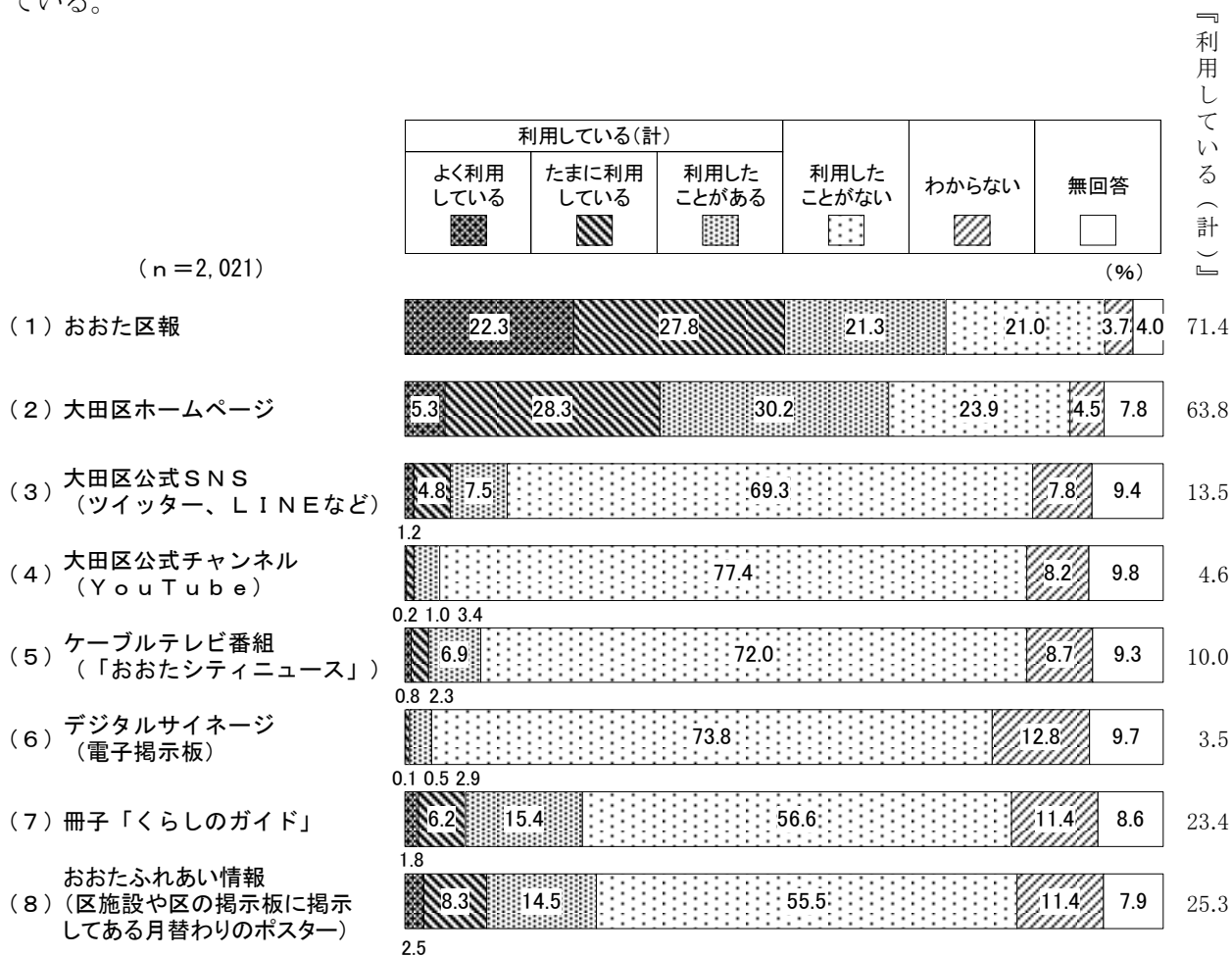
■ 区内施設の利用目的・・・「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」が5割半ば

どんな目的で大田区の施設を利用することが多いか聞いたところ、「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」(55.8%)が5割半ばで最も高く、次いで「自分の生活をより豊かにするため(健康増進、生涯学習、芸術鑑賞など)」(23.4%)、「自分が(又は家族と一緒に)気軽にのんびり過ごすため」(13.0%)などの順になっている。一方、「区の施設をほとんど利用しないのでわからない」(24.9%)は2割半ばとなっている。



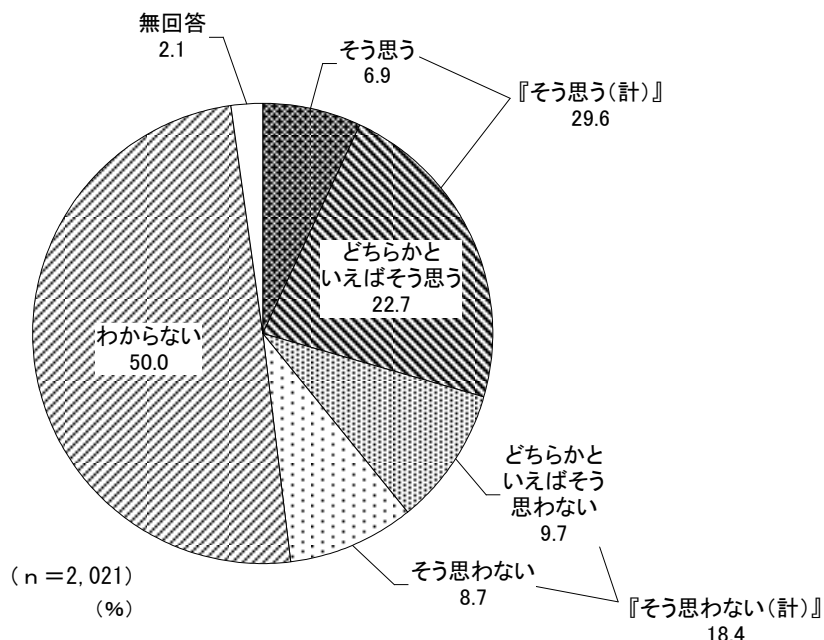
■ 区の媒体の利用頻度・・・『利用している（計）』は“おおた区報”で7割を超える

区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用しているか聞いたところ、「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用している（計）』は“おおた区報”（71.4%）で7割を超え、“大田区ホームページ”（63.8%）で6割を超えて高くなっている。



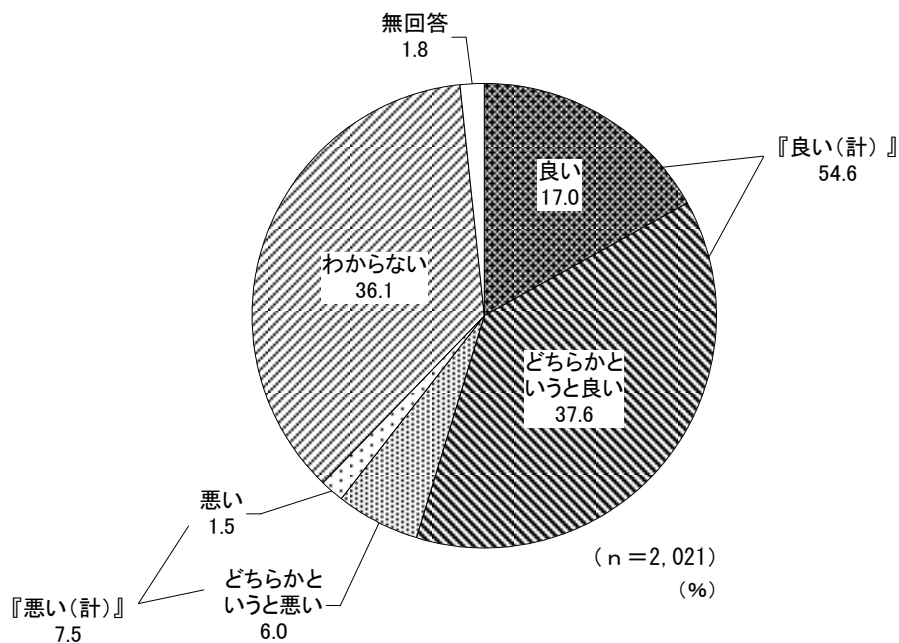
■ 区の行政サービスや窓口への印象・・・『そう思う (計)』は3割

大田区の行政サービスや窓口は以前に比べて使いやすくなった、便利になったと思うか聞いたところ、「そう思う」(6.9%)と「どちらかといえばそう思う」(22.7%)を合わせた『そう思う (計)』(29.6%)は3割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.7%)と「そう思わない」(8.7%)を合わせた『そう思わない (計)』(18.4%)は2割近くとなっている。



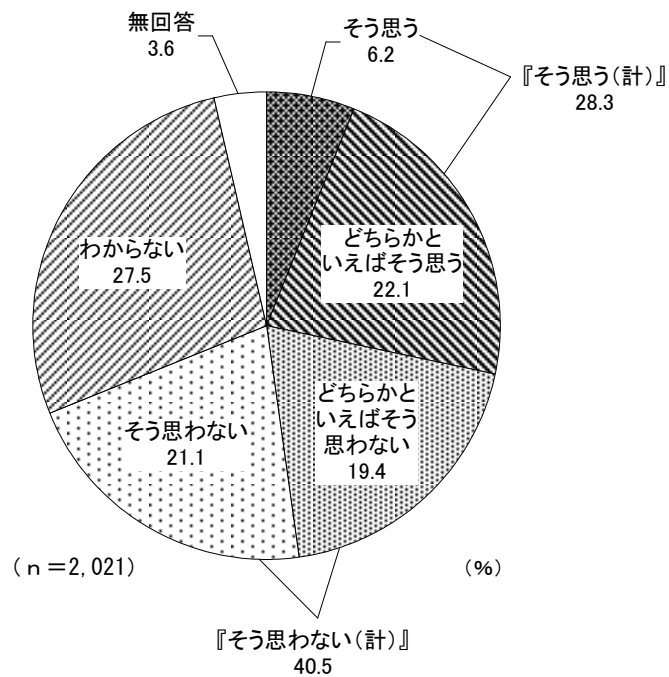
■ 区の職員の窓口や電話応対への印象・・・『良い (計)』は5割半ば

区の職員の窓口や電話での応対について聞いたところ、「どちらかというが良い」(37.6%)が4割近くで最も高く、これに「良い」(17.0%)を合わせた『良い (計)』(54.6%)は5割半ばとなっている。一方、「どちらかというが悪い」(6.0%)と「悪い」(1.5%)を合わせた『悪い (計)』(7.5%)は1割未満となっている。



### ■ 区政への参加意向・・・『そう思う（計）』は3割近く

何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思うか聞いたところ、「そう思う」（6.2%）と「どちらかといえばそう思う」（22.1%）を合わせた『そう思う（計）』（28.3%）は3割近くとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（19.4%）と「そう思わない」（21.1%）を合わせた『そう思わない（計）』（40.5%）は約4割となっている。



# 大田区政に関する世論調査（概要版）

令和5年11月発行

発行 大田区 企画経営部 広聴広報課  
東京都大田区蒲田五丁目13番14号  
電話：03-5744-1135  
FAX：03-5744-1504



©大田区